



# 関中央ロータリークラブ

2023-2024 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2  
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278  
会長 森 敬 副会長 川上 勉 幹事 石原 妙生 クラブ会報委員長 後藤 政之

2023~2024 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦から生まれる奉仕の心、

奉仕から広がる友情の輪、そして共に成長し合おう」



世界に希望を生み出そう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2116回例会 2023年9月28日(木) 担当:ロータリー財団委員会  
会員卓話 高井 良祐 会員 テーマ 「R財団研修セミナー」

前例会の記録 第2115回 2023年9月16日(土)  
「米作り農業体験事業」/担当 社会奉仕委員会

\*開会式 司会:長谷部 貴司 会員

\*会長あいさつ 森 敬 会長

本日は土曜日のお休みのところ、関中央ロータリークラブの米作り農業体験事業にご参加頂きありがとうございます。また、協力団体のNPO法人子援



隊の皆様とNPO法人ヘルシーライフせきの皆様にはいつも大変お世話になりありがとうございます。5月に田んぼに植えた苗は稲となり実をつけ、本日収穫出来るまでに育ちました。今日は皆様に稲刈り体験をしてもらいます。9月も中旬になりましたが、まだまだ日中は暑く熱中症には十分に気をつけてください。そして、今日は鎌を使い稲刈りをするので事故やケガのないように気をつけて下さい。稲刈り後は、イナゴ採取も予定をしております。お昼過ぎまでかかるかと思いますが、本日が楽しく素晴らしい時間となります事を祈念致しまして冒頭の挨拶

とさせていただきます。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

\*事業説明

吉田 和也 社会奉仕委員長

本日は、米作り農業体験事業の稲刈り体験にご参加いただきありがとうございます。参加の皆様のご紹介をさせていただきます。NPO法人子援隊より2名の子供さんと1名の保護者さん、佐藤先生をはじめ2名の引率の方々に5名のご参加、NPO法人ヘルシーライフせきより7名の子供さんと3名の保護者さん、土屋先生をはじめ4名の引率の方々に14名のご参加、そして関中央ロータリークラブの会員12名の参加で合計31名の参加となります。今回はじめて参加の子供さんもみえますが、前回の5月20日にみんなが泥んこになって植えたお米が立派に成長したわわに身をつけ、収穫の時期になりました。今日はこの稲を鎌で収穫し、11月23日にわかきプラザで行う食育体験で美味しく食べて頂きます。茶碗によそう一粒一粒のお米が食べられるようになるまでに大変な作業があるのを、この農業体験を通して学んでいただけたらと思います。また、農業の



大切さや食べ物のありがたさを理解してもらえたらうれしく思います。稲刈り体験の後にイナゴ捕り体験も行います。捕まえたイナゴは食育体験の時に皆さんに佃煮にして食べてもらおうと考えております。昔は自然の中で育っている物をありがたく食べていました。タンパク源の確保として昆虫食も話題になっていますので食育の一環として学んでいただけたらと思います。今日一日よろしく願いいたします。

#### \*稲刈りの説明 小川 糧司 会員



稲刈り体験にご参加いただきありがとうございます。苗を植えて稲が出来るまでに、おおよそ88日間かかると言われています。稲刈りが終わると、荒起し・代掻き、草刈りを行い、来シーズンの田植えに備えます。私が幼い頃、夏の夜田んぼに行き、お皿に灯油を入れてカンテラ（携帯式の手提げランプ）を灯していました。なぜ、そのようなことをしていたか、それは灯火に蛾などの害虫が集まってくるからです。灯火の下に水を張った器を置いておくとそこに害虫が入り、農薬を使わず害虫駆除ができました。また、50m～100m間隔にカンテラを置いていたので、綺麗な夜の景色を思い出します。稲の刈り方を説明します。片手で稲を1株掴みます。大人の手なら3株ほど掴めます。自分の体の方に少し持ってくるように傾けます。次に、土から15cmくらいの稲の高さのところを鎌を当てます。鎌を下から上に引き上げるようなイメージで刈って下さい。今日はコンバインの実演もありますので、楽しみにしててください。

#### \*稲刈り体験・見学







\*自然観察



\*閉会式 司会：長谷部 貴司 会員

\*ご挨拶

\*子援隊 理事長 佐藤 隆一 様

普段は体験することができない田植えや稲刈りをさせていただき、貴重な経験が出来ました。  
 関中央RCの皆さん、ありがとうございました。

\*閉会の挨拶 川上 勉 副会長

\*閉会



岐阜新聞 2023年09月20日付 中濃A

## 稲刈り通じ食育学ぶ

関中央RCひとり親家庭が体験  
 関中央ロータリークラブ  
 (森敬会長)は、関市小迫間  
 の田んぼで、ひとり親家庭  
 の子どもや保護者を招い  
 た稲刈り体験を開催した。  
 クラブは毎年、新米を子  
 ども食堂に提供する活動に  
 取り組んでいる。今年も農



稲刈りを体験する子どもたち＝関市小迫間

業や食べ物大切さを学ん  
 てもらおうと、1年を通し  
 て田植えから稲刈り、食育  
 を体験してもらう催しを初  
 めて企画した。  
 会員をはじめ、NPO法  
 人の子援隊、ヘルシライ

安桜小学校4年の山中空  
 君(10)は「鎌で稲を刈るの  
 が楽しかった」と笑顔。森会  
 長は「みんなで農業体験を  
 して、食の大切さについて  
 理解してもらえたらうれ  
 い」と話した。(根尾文悟

フセギから小中学生ら約30  
 人が参加。会員が所有する  
 田んぼ23町で、子どもたち  
 が汗を流しながら稲刈りを  
 したり、イナゴを捕まえた  
 りした。

©岐阜新聞

### <次例会の案内>

第2117回 2023年10月5日(木)

卓話 米山記念奨学生 載 騰敏 さん

テーマ

「マレーシアと日本：文化・生活の共感と架け橋」

担当 米山記念奨学委員会